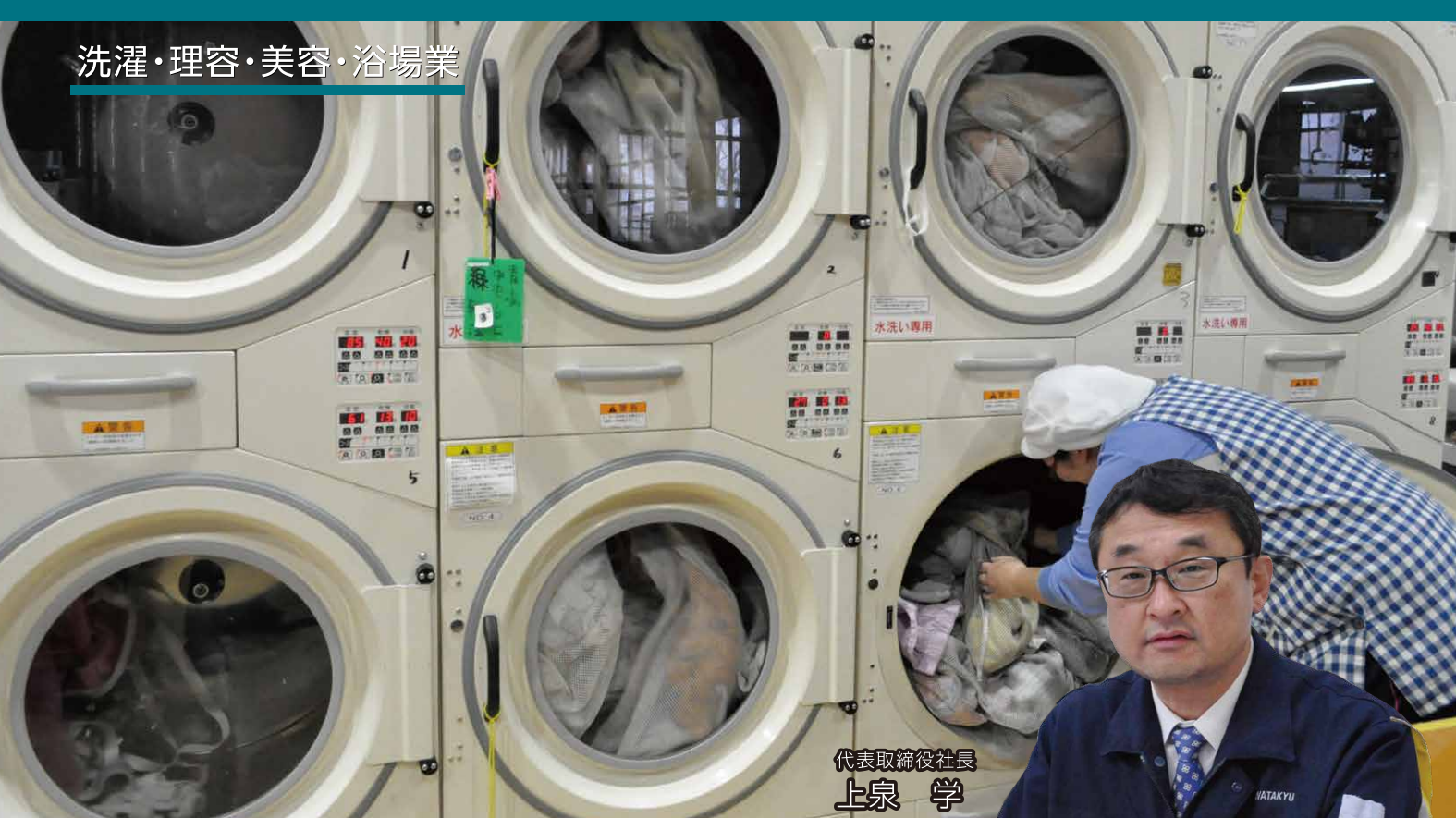


代表取締役社長
上泉 学

【事業計画名】 病院・高齢者施設の入所者向け 私物洗濯の個別管理システムの構築

背景・目的

私物洗濯の個別管理に課題。服の縮みによる苦情も

当社は、病院や福祉施設の布オムツ等を対象としたクリーニング業として、平成13年に設立しました。現在は、オムツが布製から紙製に切り替わり、各施設からのニーズも多いことから、私物洗濯を中心とした業務を行っています。

私物洗濯は、施設利用者個人の私物

を預かって洗濯することです。個人毎に洗濯物を詰めてもらい、施設内で集約したものをお預かりします。洗濯をする際には、ネット袋のまま洗浄・脱水・乾燥を行います。既存の洗濯機では容量が小さく、回転バランスの悪さにより脱水が困難となるほか、乾燥においても縮みや変色などの課題が

生じていました。



実施内容

洗濯脱水機と乾燥機の導入で個別管理体制を構築

大型の全自動洗濯脱水機と施設用乾燥機を導入することで、作業負担の軽減やクレーム解消を図り、ニーズに対応した個別管理体制を構築することとしました。

導入した設備は、容量100kgの全自動洗濯脱水機と、ドラムが8個並び、

一個あたり17kgの容量に対応した施設用全自動乾燥機です。乾燥機は、青森県の冬期間の地域性や衣類の素材を考慮し、より乾燥能力が高い機種を導入しました。



事業成果

衣類の傷みなどのトラブル減少、作業も軽減された

全自動洗濯脱水機の導入により、一度に洗濯できる処理量が増えたため、従来と比較しておよそ3時間、洗濯脱水にかかる時間が短縮できています。作業効率が向上したため、機械のメンテナンスや清掃等、洗濯以外の業務に時間を充てるできるようになりました。

また、施設用全自動乾燥機の導入によって、個別のドラムごとに温度設

定できるようになったため、これまでの業務用乾燥機で発生していた急激な温度上昇による衣類の傷みや硬くなるといったトラブルがなくなり、風合いがよく柔らかな仕上がりとなりました。介護施設など、お年寄りの多い施設からの私物洗濯は好評で、衣類が柔らかな仕上がりとなったことで他社との差別化にもつながっています。

また、8つの小さなドラムで乾燥さ

せることで、個別管理が整備され、畳み作業から出荷までの作業負担の軽減や紛失を防止できています。



ココがポイント

設備導入後の苦情がゼロへ！

個人の私物をお預かりする以上、なるべく早くお返しすることを目指しています。新しい乾燥機の導入後は、中1日でお返しできるようになりました。また、**乾燥のクオリティが上がったことで、かつてあった衣類が縮んでしまうことや、傷むことへの苦情がなくなりました。**



**乾燥クオリティ向上で
苦情減少！**

今後の展望

社会のニーズに柔軟に対応し、需要拡大を目指す

現在当社は、青森市から端は深浦町まで、つがる・五所川原地域を中心に、病院、老人ホーム、介護施設等のリネン類と私物洗濯を引き受けています。

クリーニング業界としての需要は縮小傾向にあるものの、病院や福祉施設利用者を対象とした「私物洗濯」の市場は、高齢化や病院、福祉施設のスタッフ不足などの背景から拡大傾向に

あります。また、新型コロナウイルスの感染防止対策によって、面会に来る家族へ洗濯物を預けることができなくなり、預けていた方の洗濯は施設の職員が行っているという施設もあります。今後ますます洗濯業務のアウトソーシングを考える施設が増える可能性があり、このようなニーズに対し、当社では柔軟に対応していきたいと考えています。

また、施設利用者の洗濯だけではなく、自宅で暮らす高齢者の私物洗濯業務も視野に入れています。どのように回収し、配達するかなど、システムの構築はこれからですが、社会的ニーズがある限り応えていけるようなやり方を模索していきます。



株式会社西北総合ドライクリーニングセンター

〒037-0106 つがる市稲垣町沼崎米橋37番地3 TEL.0173-69-7107 FAX.0173-69-7071
代表取締役 上泉 学 ◎創業 昭和39年5月 ◎資本金 1,000万円 ◎従業員 45名